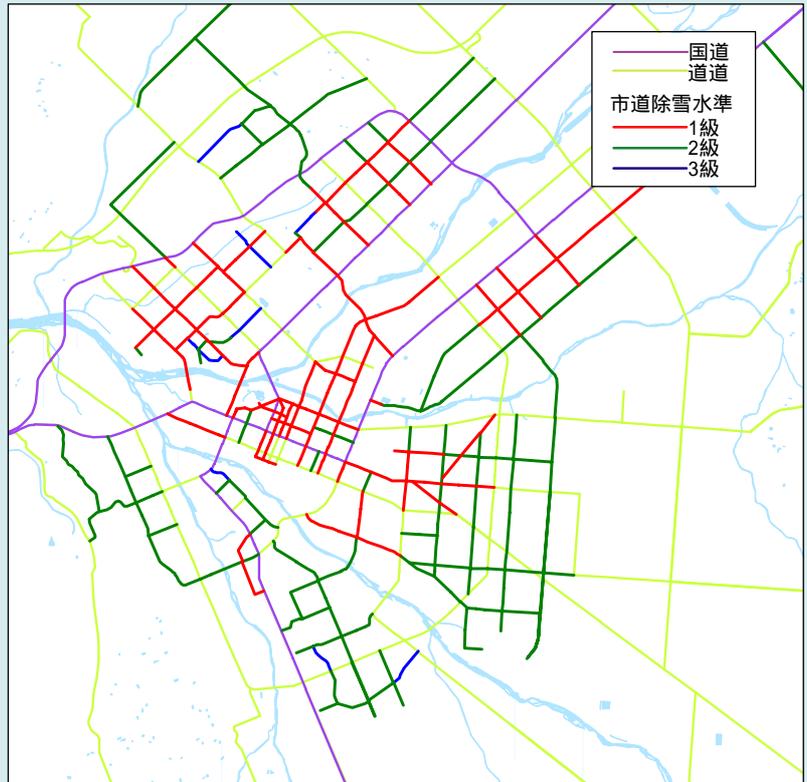
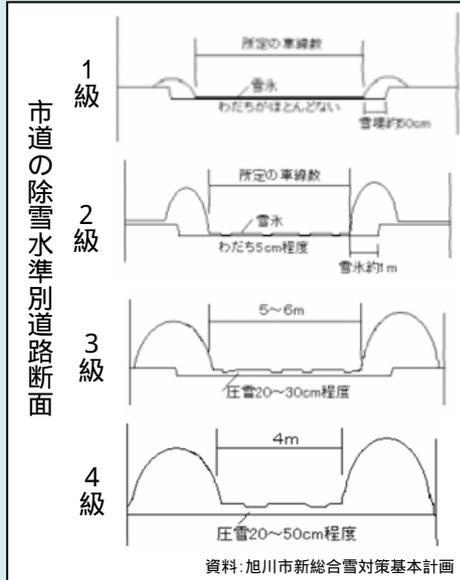


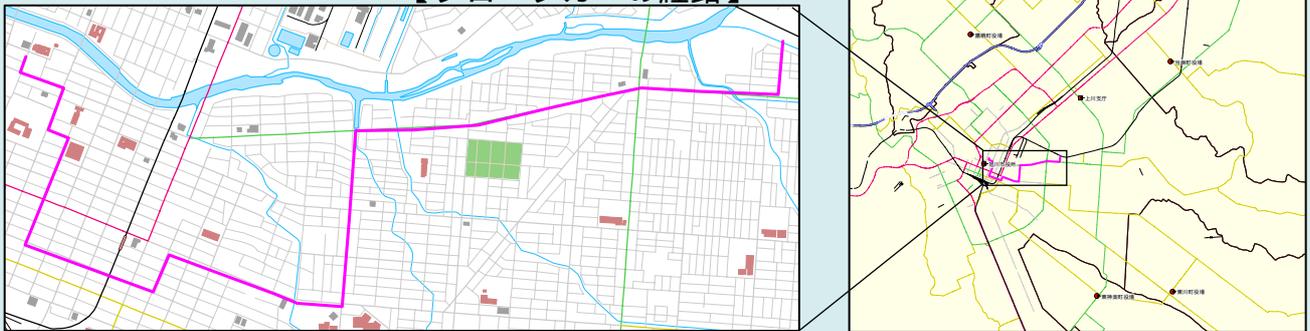
【旭川市内市道の除雪水準】

市道による除雪水準の違い
道路機能や役割に応じて概
ね5種類の路線に分類し除雪
作業を実施している。

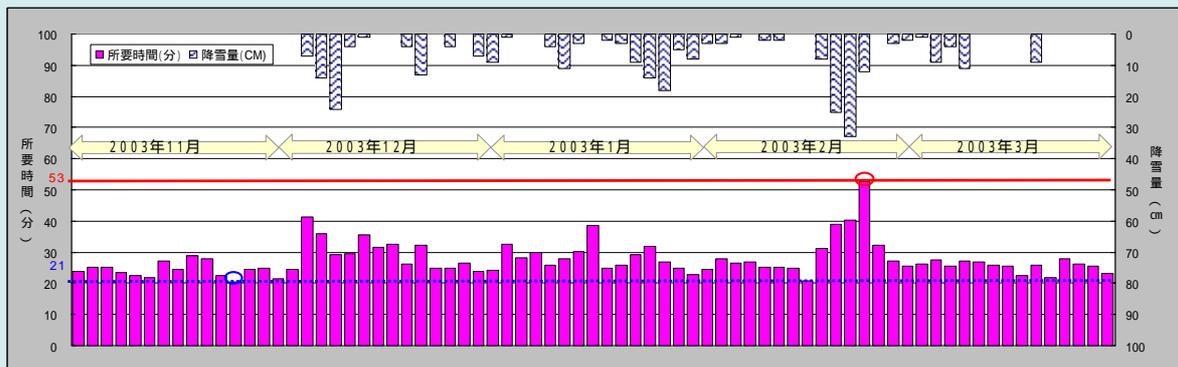


バラツキがある冬期所要時間
冬期間は、除排雪、路面状況等により速度が変化することもあり、日によっては同
じ場所に行くのに30分近い差が発生する。

【プローブカーの経路】



【プローブカー調査による毎日の冬期通勤所要時間】



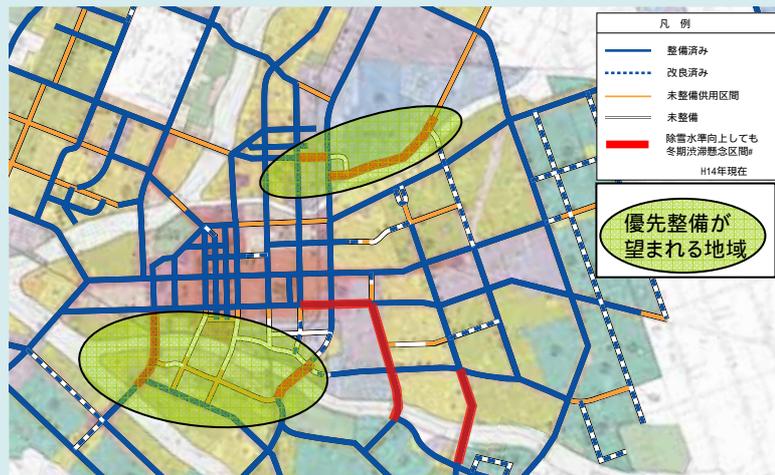
8-2 冬期交通の取り組み

冬期交通の基本施策

冬期交通の現状の課題に対する基本施策として、冬期でも円滑・安全な道路網を目指し「冬期の交通円滑化に寄与する路線の優先整備」、「道路の機能・役割に応じた車道・歩道除雪」や「冬期におけるバス交通対策」などに取り組んでいく。

除排雪では円滑化が図れない地域での優先的な道路整備

除雪水準向上させたとしても依然として冬期の交通円滑化が図れない地域においては未整備都市計画道路の優先整備を図ることが望まれる。



施策効果

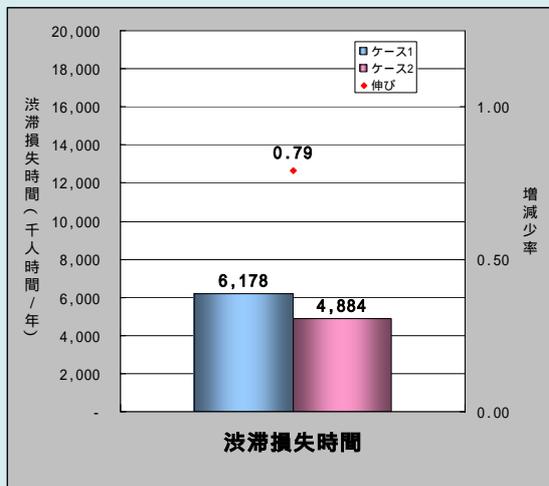
冬期現況配分交通量推計結果による除雪水準を各路線に設定した上で除雪水準の違いによる効果を行った各種仮定条件に基づき試算した結果を以下に示す。

損失時間が2割削減

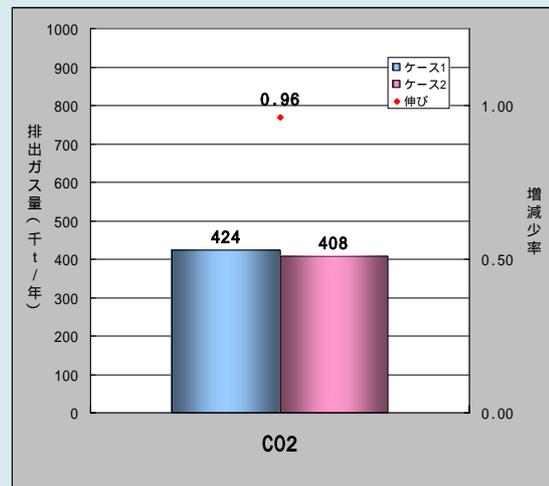
現在のサービス水準を維持し除雪を行うことで、平均走行速度が向上し、結果として、渋滞による損失時間は2割の減少が図られていることが試算される。

- ケース1：除雪が自動車が辛うじて走行可能な除雪状況を想定（積雪後1次除雪）
4車線 2車線、2車線道路2台の車がぎりぎりすれ違いできる状況
ケース2：現在のサービス水準が維持された場合

【渋滞損失時間の比較】



【CO2排出量の比較】

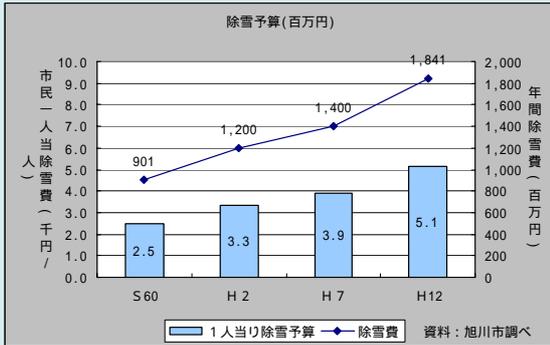


住民協力による歩行空間の確保

年々増加する除雪費の軽減を図るため、冬期ボランティア・サポート・プログラム等、地域住民との連携による冬期バリアフリーを積極的に推進し、官民共同による安全な冬期歩行空間の確保に取り組んでいく。

【住民協力による砂散布】

【旭川市の市道除雪費の推移】



- 地域FM等を通じて市内の降雪状況等の情報提供
- 地域と協働して行う既存流雪溝・小型除雪機などによる除排雪
- 凍結抑制舗装整備 交差点横断歩道部 (2交差点)
- 地域と協働して行う歩道の防滑対策 - 砂撒き - 春先回収リサイクル 自然にやさしい砂箱の設置 (間伐材使用)
- 英語など多言語看板・標識で親切に案内 (駅などにボランティアを配置など)

冬期に円滑な歩行空間を提供する都心地区の形成
旭川市では、快適な歩行空間の確保のために、流雪溝や歩道ヒーティングの整備を進めている。

【旭川市都市部の歩行者空間整備】

至稚内市 旭川 国道40号 牛朱別川 至北見市 平和通買物公園

中心市街地活性化区域 9条通 市役所 旭川駅前

国道12号 流雪溝整備前 流雪溝整備後

5条通 流雪溝 3条通 流雪溝 2条通 流雪溝 1条通 流雪溝

駅前広場 旭川駅 旭川駅前

買物公園沿いの公開空地

土地区画整理事業区域 旭川駅前 旭川駅前

流雪溝投雪状況

至富良野市 神楽岡公園

凡例

- 流雪溝整備済み区間
- 歩道ロードヒーティング区間
- 土地区画整理事業区域
- 中心市街地活性化区域